

# 新年のご挨拶

皆様 あけましておめでとうございます。

コロナ禍の一日も早い終息と皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

昨年はコロナ禍が長期化する中、9月に日経平均株価が約31年ぶりの高値3万795円を付けました。大納会の終値は2万8791円と3万円を下回ったものの、年間ベースで3年連続の上昇となりました。干支にまつわる相場格言「丑（うし）」は「つまづき」の通り、デルタ株の流行やインフレ懸念などでつまづく場面がありましたが、幸いにも大きくつまづくことなく、底堅く推移した1年だったと感じております。

日本は今、オミクロン株によるコロナ第6波の瀬戸際にいます。インフレ懸念を背景に米国では今年、金融政策正常化に向けた動きが本格化しそうです。ただ国内ではワクチン接種が進み、昨年12月には新型コロナ飲み薬も承認されました。インフレを警戒しながらも経済再開を支えに世界経済の回復は続くと思われ、今年も日本株は堅調に推移すると考えています。

相場格言によると今年の干支「寅（とら）」は「千里を走る」です。勢い盛んな印象の格言とは裏腹に寅年の日経平均株価は1勝5敗と芳しくありませんが、今年は寅年として2勝目を期待できるでしょう。

弊社は、今年で創立86周年を迎えます。これはひとえにお客様の永きにわたるご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

今後とも、お客様の大切な資産運用の良き相談相手となれますよう、従業員一同、「お客様満足度」を最優先に誠心誠意努力して参ります。また、お客様および従業員の安全を第一に考え、社内外への感染拡大防止と、お客さまへのサービス提供維持に努めて参りますので、今後もこれまでと変わらぬご愛顧とお引き立てを賜りますよう、切にお願い申し上げます。

令和4年1月4日

代表取締役社長

鈴木 崇